



谷川士清
たにがわことすが

に

日本で初の
にほんはつ
 国語辞典
こくごじてん



谷川士清
たにがわことすが
 谷川士清は、津の医者であり、
たにがわことすが つ いしや
 国学者でした。士清が研究の中
こくがくしゃ ことすが けんきゆう なか
 で、言葉を50音順に整理した
ことば おんじゆん せいり
 「和訓栞」は、日本初の国語辞
わくんのしおり にほんはつ こくごじ
 典といわれています。多くの言
てん おお こと
 葉が載せられ、今の国語辞典
は の いま こくご じてん
 のもととなっています。
 【教材「三重の文化」P35】